

## 【様式2】

## ②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	高知県
取組市町村名 取組団体・企業名	①四万十市、②中土佐町、③越知町、④本山町
取組の名称	食品ロス削減出前授業の実施
実施時期	①11月15日、②11月18日、③11月27日、④12月9日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	<p>県内の4つの小学校を対象に食品ロス問題に関する出前授業を実施しました（実施校等詳細は下記参照）。授業では、食品ロスの現状、食品ロス量を経済損失や環境負荷に置き換えた数値等による説明を行い、自分達には何かできるかについて児童と一緒に考えました。そして、食品ロス削減のために自分達ができることは、給食や家庭で出される、バランスを考えて作られた食事を残さずきちんと食べることで、それによってい頭も心も体も成長できることを伝えました。</p> <p>出前授業を実施したあるクラスでは、給食残渣が1食の1.2kgから300gに減りました。</p> <p>【出前授業実施学校（学校名・学年・人数）】</p> <p>①中村南小学校 6年生 31人 ②大野見小学校 3～4年生 5人 ③越知小学校 1～2年生 54人 ④本山小学校 5年生 16人</p>

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	高知県
取組市町村名 取組団体・企業名	高知市 高知市立潮江南小学校
取組の名称	災害時の食
実施時期	令和6年9月6日（金）参観日にて実施
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	<p>避難訓練や防災給食と近い時期に行い、防災学習の一環として防災食について学ぶ</p> <p>○実施学年：3年生 ○講師：栄養教諭</p> <p>○めあて 災害時の食について知る。また、被災した時、食べられるときにしっかり食べることや、いろいろな栄養を考えて好き嫌いなく食べることの大切さに気づく。</p> <p>○実施内容</p> <p>①地震が起きたら使えなくなるものを確認する。 （水道、電気、ガス、道路）☆冷蔵庫や電子レンジも使えないね！</p> <p>②防災給食からわかったことを交流する。</p> <p>③防災袋に入れるもの、入れないものを考える。 グループで、6枚の食品カードを「入れる」「入れない」に分類し、理由をつけて発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>切り干し大根は鍋と水が必要だから食べられないんじゃない？ 魚は栄養があるからいれたらいいんじゃない？ でも、魚やわかめはくさらないかな？</p> </div> <p>・入れる：さば缶、切り干し大根、乾燥わかめ ・入れない：レタス、生魚、わかめ（生） ☆「入れる」ものは、長持ちするものだね！ ☆「入れない」ものは、くさりやすいね！</p> <p>④潮江南小に備蓄されている防災食について、栄養教諭の話聞く。 ・水…一人当たり1本半くらい ・α化米…一人当たり3こ ☆水だけでご飯になるよ！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>うわ～食べたい～！</p> </div> <p>・缶パン、ミレービスケット</p> <p>⑤防災食の重要性、家庭での備蓄について話を聞く。</p> <p>○成果</p> <p>・防災袋に入れるもの、入れないものを考える活動が大変盛り上がり、児童がいきいきと考える姿があった。中には、長持ちするかどうかではなく栄養があるかどうかや好き嫌いで考えている児童もいて、今回の学習で、「防災食は長持ちするものにする」ということを知ることができた。</p> <p>・自分たちなりに一度考えたことで、防災食について関心をもって学習することができた。</p> <p>・災害時のことを考えて作られている食品があることを知ることができた。また、災害時は何でもあるわけではないので、あるものを好き嫌いせず食べることが大切だと気付くことができた。</p> <p>・参観日で行うことによって、家庭でも考えてもらうきっかけをつくることができた。</p>